



2018年8月31日

各位

会社名 株式会社 タケエィ  
代表者名 代表取締役社長 山口 仁司  
(コード: 2151 東証第1部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 阿部 光男  
(TEL 03-6361-6871)

発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF製造技術の開発に対する  
補助金の継続交付決定に関するお知らせ

当社の「発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF製造技術の開発」事業(以下、本事業)について、昨年度に引き続き、福島県より「平成30年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金」(以下、補助金)の交付決定通知を受領いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景及び概要

昨今、中国が廃プラスチック類の輸入を禁止したことが大きな社会問題となっており、わが国としても解決すべき喫緊の課題として取り組む必要性に迫られております。そうした中、廃棄物由来の低品質廃プラスチックを原料に固形型燃料(RPF)を製造する技術の開発を一層推し進め、確固たる技術へと昇華させるため、平成29年度に引き続き本補助金の申請をし、福島県より交付決定通知を受領しました。※2017年12月18日付「発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF製造技術の開発に対する補助金の交付決定に関するお知らせ」参照

※RPF: Refuse derived paper and plastics densified Fuel (廃プラスチック固形化燃料)の略

2. 当社の研究について

RPFの製造フローとして、①受入・選別 ②破碎及び高度選別 ③洗浄 ④精選 ⑤RPF製造の5工程を想定しております。

また、建設廃棄物を原料としてRPFを製造する過程における課題として、土砂を多く含み、カロリーが低いこと、塩素等有害物質を多く含むため、燃料としての品質が安定しないことが挙げられます。

平成29年度の研究においては、各種選別機及び乾式洗浄機を用いることにより、土砂等の除去に一定の成果を挙げることが出来ました(上記フローの①～③)

本年度は、光学選別機を使用して塩素等を除去し、RPF原料品質の安定化を図ること(同④)、分析器を用いてカロリー計測を行い、必要に応じて高カロリーのプラスチックを添加することによりカロリーの安定化を図ること(同⑤)について研究を行い、RPF燃料中の塩素等有害物質濃度の安定化やカロリーの安定化に関するデータを蓄積することを目標といたします。

将来的には、このRPFを燃料として発電することにより確保できるクリーンかつ低コストのベース電源としてのエネルギーを地元福島県にて有効利用し、国の「第5次エネルギー基本計画」に基づく、電解水素製造への利用についても前向きに取り組んでいきたいと考えております。

### 3. 補助金の交付内容

- (1) 対象となる事業 建設廃棄物からの高品質RPF(廃プラスチック固形型燃料)製造技術の開発
- (2) 交付予定日 2019年3月下旬  
(補助対象となる事業に関する検査終了後)
- (3) 交付予定額 79,210千円  
(開発予定金額158,420千円の50%)

### 4. 事業の概要

名称	発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF製造技術の開発
開発予定金額	158,420千円(2018年度分のみ)
補助金	金額:79,210千円 名称:平成30年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金 区分:エネルギー分野
予定地	福島県相馬市光陽町二丁目2番21号(株式会社タケエイ相馬事業所内)
今後の予定	8月下旬 開発事業開始 2月下旬 開発実績に関する報告書提出 3月下旬 補助金支払

### 5. 今後の見通し

本事業開発による当社連結業績見通しに与える影響は、軽微となる見込みです。

以上